

## (目標1)地域包括ケアシステムを支える在宅療養の推進

- 誰もが、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域の医療・介護の関係団体が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療と介護を一体的に提供する必要
- 住民に最も身近な区市町村が在宅療養の実施主体として、地域包括ケアの視点に立った地域の実情に応じた取組を推進
- 都は、広域的な医療・介護連携、在宅療養に関するデータの提供、先進事例の紹介など、区市町村の取組を支援

## (目標2)地域における在宅療養体制の充実

- 地域における区市町村、関係機関等の取組を支援し、在宅療養体制の充実を図る
- 医療・介護連携推進事業（ア）から（ク）について、区市町村の地域の実情に応じた取組を支援
- 関係機関と連携し、24時間の診療体制の確保、ICTを活用した情報共有・多職種連携の強化、災害時の支援体制の確保などの取組を充実
- 都民が住み慣れた地域で安心して暮らし、本人の希望する場所で看取りが行えるよう、看取りに対する都民の理解を促進するとともに、看取り環境の整備に向けた取組を進めていく。
- 医療的ケアを必要とする小児等の在宅療養患者とその家族が、安心して暮らしていけるよう、地域の実情に応じた取組を行う区市町村を支援

# 東京都保健医療計画「在宅療養」骨子(案)

## (目標3)在宅療養生活への円滑な移行の促進

- 入院患者を円滑に在宅療養生活に移行させるため、入院早期から、病院、地域の保健・医療・福祉関係者と連携した退院支援の取組を促進
- 入院医療機関における退院支援の取組を更に進めるとともに、地域の医療機関、ケアマネ等多職種との情報共有・連携を強化し、患者・家族も含めたチームでの取組を促進
- 区市町村を越えた広域的な入院医療機関と地域の連携（入退院調整・医療介護連携）の充実に向け協議の場を設定するとともに、地域における在宅療養への移行調整の役割を担う在宅療養支援窓口の機能強化に向けた取組を充実
- 退院支援マニュアルや転院支援情報システムの活用を促進するとともに、内容・機能の充実に向け検討を実施

## (目標4)在宅療養に関わる人材育成・確保

- 今後の在宅医療の需要増加に伴い、担い手の確保に向けた取組が必要
- 医師会等関係団体と連携し、人材育成・確保のための研修を実施するとともに、かかりつけ医と在宅医の連携強化、24時間診療体制の確保等の取組により、在宅医療への参入を促進
- 区市町村は、地域の在宅医療資源の状況を把握するとともに、在宅サービス必要量の推計等を踏まえ、在宅医療資源の確保に向けたきめ細かな取組を実施

## (目標5)在宅療養に関する都民の理解促進

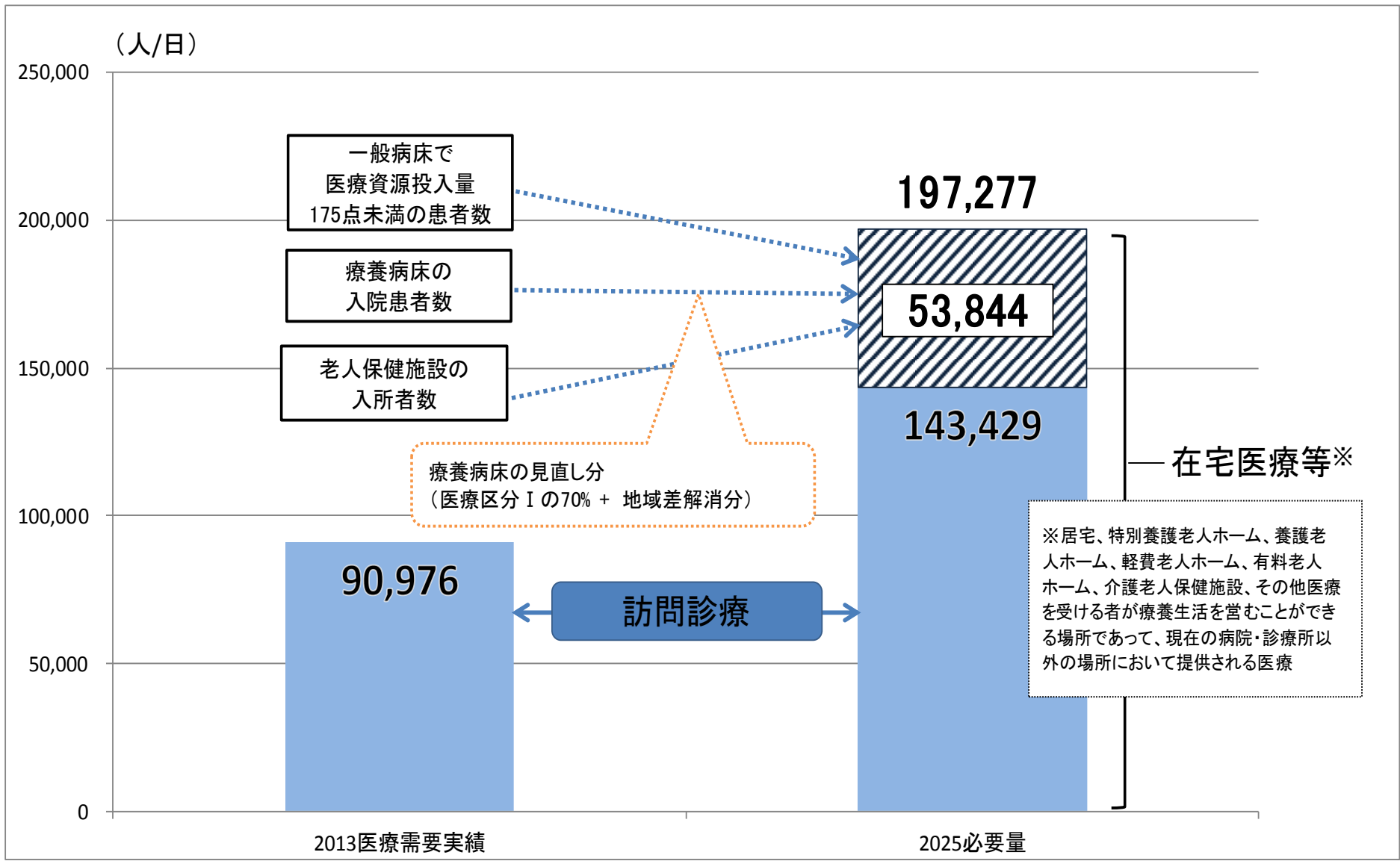
- 在宅療養について、都民の理解をより一層深めるため、引き続き、都民に対する普及啓発を実施
- 都が、在宅療養や暮らしの場における看取り等についての普及啓発に係るパンフレット・DVD等を作成し、区市町村がそれを活用して普及啓発を進めるなど、区市町村、関係機関と連携した取組を推進

## 想定される指標

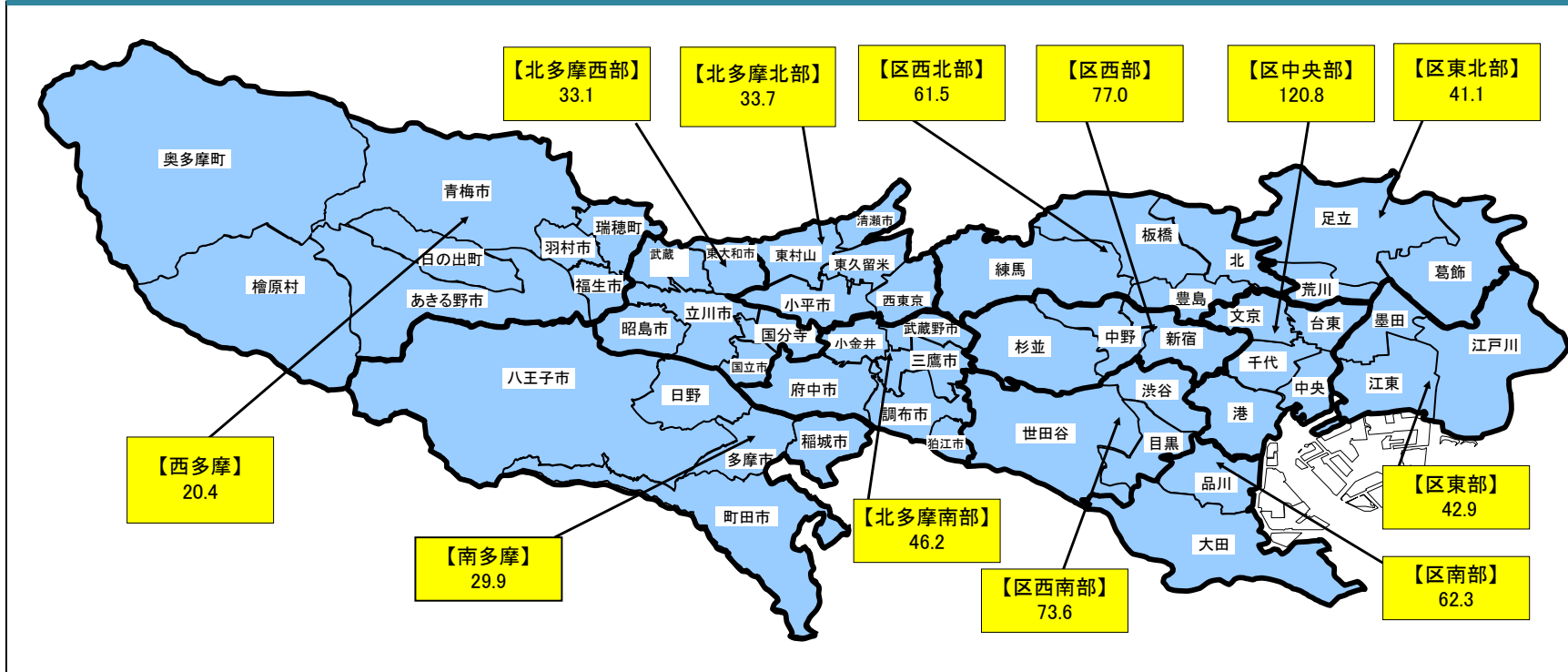
- ① 在宅療養支援病院数
- ② 在宅療養支援診療所数
- ③ 訪問診療を実施する病院
- ④ 訪問診療を実施する診療所
- ⑤ 診療所による訪問診療の実施件数
- ⑥ 在宅看取りを実施する診療所数
- ⑦ 訪問看護ステーション数
- ⑧ 退院調整部門の設置状況
- ⑨ 長期の療養が必要になった場合、自宅での療養を続けたいと思う人の割合

## 資料5 別冊

# 東京都における在宅医療等の医療需要の推計 (2013年→2025年)



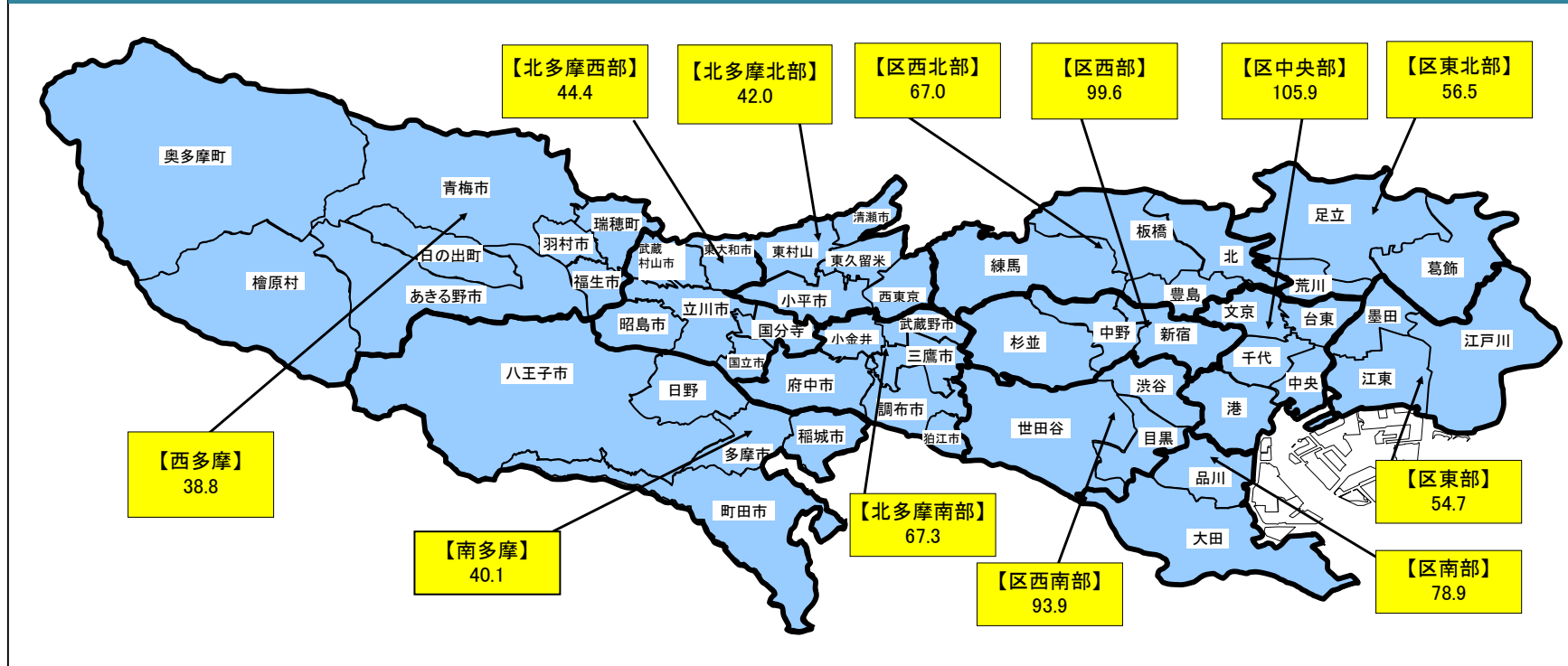
# 都内65歳以上人口10万対在宅療養支援診療所数（二次保健医療圏別）



圏域	構成区市町村	在宅療養支援病院	在宅療養支援診療所数	65歳以上人口10万対在宅療養支援診療所数
全国		928	14,397	45.6
都		90	1,519	53.7
区部		57	1,203	64.0
区中央部	千代田・中央・港・文京・台東	3	187	120.8
区南部	品川・大田	6	142	62.3
区西南部	目黒・世田谷・渋谷	4	192	73.6
区西部	新宿・中野・杉並	7	184	77.0
区西北部	豊島・北・板橋・練馬	15	248	61.5
区東北部	荒川・足立・葛飾	14	126	41.1
区東部	墨田・江東・江戸川	8	124	42.9
多摩地域		33	315	33.6
西多摩	青梅・福生・羽村・あきる野・瑞穂・日の出・檜原・奥多摩	3	20	20.4
南多摩	八王子・町田・日野・多摩・稲城	14	97	29.9
北多摩西部	立川・昭島・国分寺・国立・東大和・武蔵村山	4	47	33.1
北多摩南部	武蔵野・三鷹・府中・調布・小金井・狛江	8	94	46.2
北多摩北部	小平・東村山・西東京・清瀬・東久留米	4	57	33.7
島しょ部		0	1	11.5

出典：「在宅医療にかかる地域別データ集」（厚生局調べ・H26.3.31）（平成28年7月6日）より抜粋  
 「人口」については、上記データ集（H26.1.1現在）の人口を活用

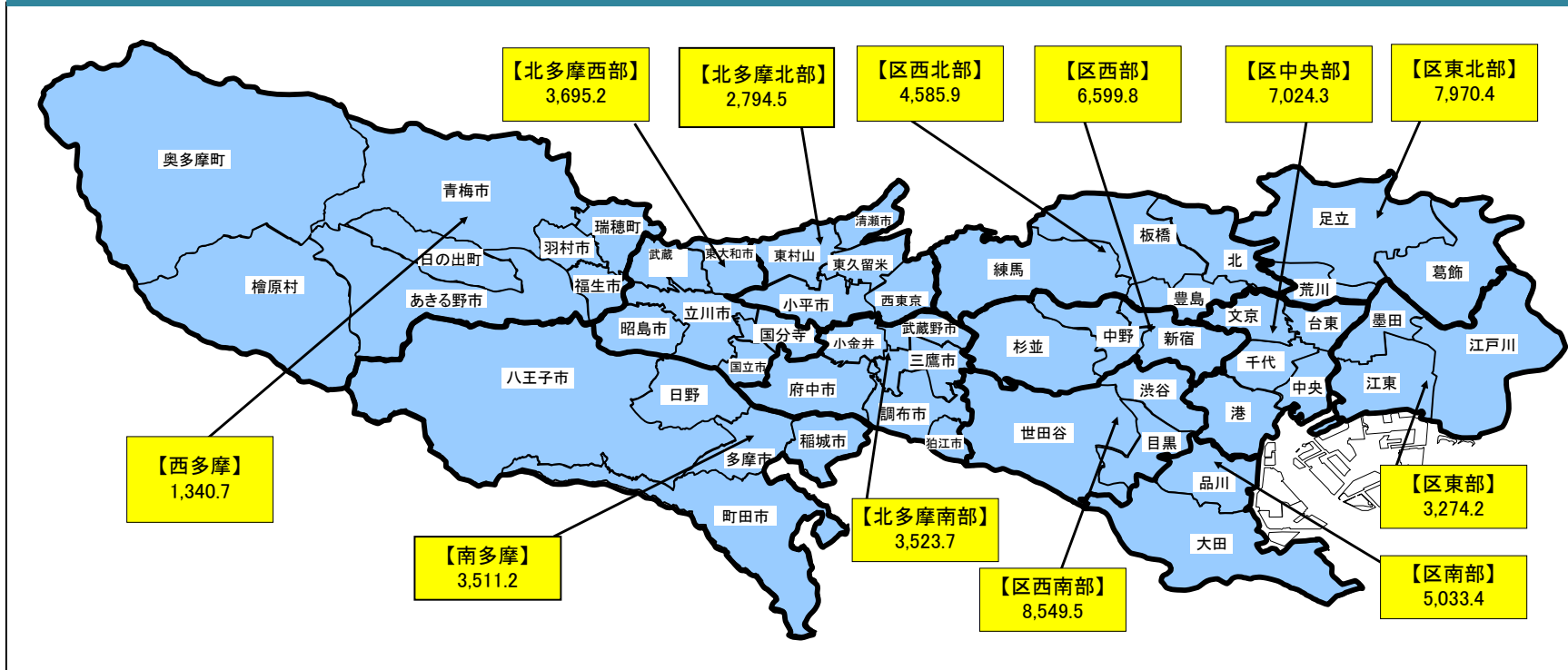
# 都内65歳以上人口10万対訪問診療を実施する診療所数（二次保健医療圏別）



圏域	構成区市町村	訪問診療を実施する診療所数	65歳以上人口10万対訪問診療を実施する診療所数
全国		20,597	65.2
都		1,871	66.2
区部		1,428	75.9
区中央部	千代田・中央・港・文京・台東	164	105.9
区南部	品川・大田	180	78.9
区西南部	目黒・世田谷・渋谷	245	93.9
区西部	新宿・中野・杉並	238	99.6
区西北部	豊島・北・板橋・練馬	270	67.0
区東北部	荒川・足立・葛飾	173	56.5
区東部	墨田・江東・江戸川	158	54.7
多摩地域		439	46.9
西多摩	青梅・福生・羽村・あきる野・瑞穂・日の出・檜原・奥多摩	38	38.8
南多摩	八王子・町田・日野・多摩・稲城	130	40.1
北多摩西部	立川・昭島・国分寺・国立・東大和・武蔵村山	63	44.4
北多摩南部	武蔵野・三鷹・府中・調布・小金井・狛江	137	67.3
北多摩北部	小平・東村山・西東京・清瀬・東久留米	71	42.0
島しょ部		4	45.9

出典：「在宅医療にかかる地域別データ集」（医療施設調査・特別集計H26.10.1）（平成28年7月6日）より抜粋  
 「人口」については、上記データ集（H26.1.1現在）の人口を活用

# 都内65歳以上人口10万対訪問診療の実施件数（二次保健医療圏別）



圏域	構成区市町村	診療所による訪問診療の実施件数(1か月間)	65歳以上人口10万対診療所による訪問診療の実施件数
全国		948,728	3,004.0
都		142,818	5,052.6
区部		112,798	5,996.4
区中央部	千代田・中央・港・文京・台東	10,877	7,024.3
区南部	品川・大田	11,481	5,033.4
区西南部	目黒・世田谷・渋谷	22,307	8,549.5
区西部	新宿・中野・杉並	15,764	6,599.8
区西北部	豊島・北・板橋・練馬	18,490	4,585.9
区東北部	荒川・足立・葛飾	24,425	7,970.4
区東部	墨田・江東・江戸川	9,454	3,274.2
多摩地域		29,844	3,185.7
西多摩	青梅・福生・羽村・あきる野・瑞穂・日の出・檜原・奥多摩	1,312	1,340.7
南多摩	八王子・町田・日野・多摩・稲城	11,386	3,511.2
北多摩西部	立川・昭島・国分寺・国立・東大和・武蔵村山	5,247	3,695.2
北多摩南部	武蔵野・三鷹・府中・調布・小金井・狛江	7,175	3,523.7
北多摩北部	小平・東村山・西東京・清瀬・東久留米	4,724	2,794.5
島しょ部		176	2,019.5

出典：「在宅医療にかかる地域別データ集」（医療施設調査・特別集計H26.10.1）（平成28年7月6日）より抜粋  
 「人口」については、上記データ集（H26.1.1現在）の人口を活用



# 各区市の状況

## 「＜患者住所地ベース＞」について

患者の住所地をベースに、患者がどこに所在する医療機関から訪問診療を受けているかを表す。

例：A区に住んでいる患者が、A区の医療機関から訪問診療を受けた件数 4,400件  
 A区に住んでいる患者が、B区の医療機関から訪問診療を受けた件数 200件 ※住所地特例の場合もあり

## 「＜医療機関所在ベース＞」について

医療機関の所在地をベースに、どの地域で訪問診療を実施しているかを表す。

例：A区に所在する医療機関が、A区に住んでいる患者へ訪問診療を実施した件数 4,400件  
 A区に所在する医療機関が、B区に住んでいる患者へ訪問診療を実施した件数 100件 ※住所地特例の場合もあり

### 【A区】 ※二次医療圏 「区中央部」

#### ＜患者住所地ベース＞

区分	A区	B区	C区	D区	区西南部	区西部	区西北部	区東北部	区東部	埼玉県	千葉県	神奈川県	区外計	総計
訪問診療（居宅）	3,000	200		100					200				500	3,500
訪問診療（同一建物）	800										100		100	900
訪問診療（特定施設）	600			200	100	100	100	600	200	300	200	500	2,300	2,900
合計	4,400	200	0	300	100	100	100	600	400	300	300	500	2,900	7,300

#### ＜医療機関所在地ベース＞

区分	A区	B区	C区	D区	区西南部	区西部	区西北部	区東北部	区東部	埼玉県	千葉県	神奈川県	区外計	総計
訪問診療（居宅）	3,000	100							500				600	3,600
訪問診療（同一建物）	800								300				300	1,100
訪問診療（特定施設）	600							200	1,100				1,300	1,900
合計	4,400	100	0	0	0	0	0	200	1,900	0	0	0	2,200	6,600

### 【E市】 ※二次医療圏 「南多摩」

#### ＜患者住所地ベース＞

区分	E市	F市	G市	H市	Y市	区中央部	区南部	区西南部	区西部	区西北部	西多摩	北多摩西部	北多摩南部	神奈川県	市外計	総計
訪問診療（居宅）	800		100												100	900
訪問診療（同一建物）	100												200		200	300
訪問診療（特定施設）				500	100								400	400	1,400	1,400
合計	900	0	100	500	100	0	0	0	0	0	0	0	600	400	1,700	2,600

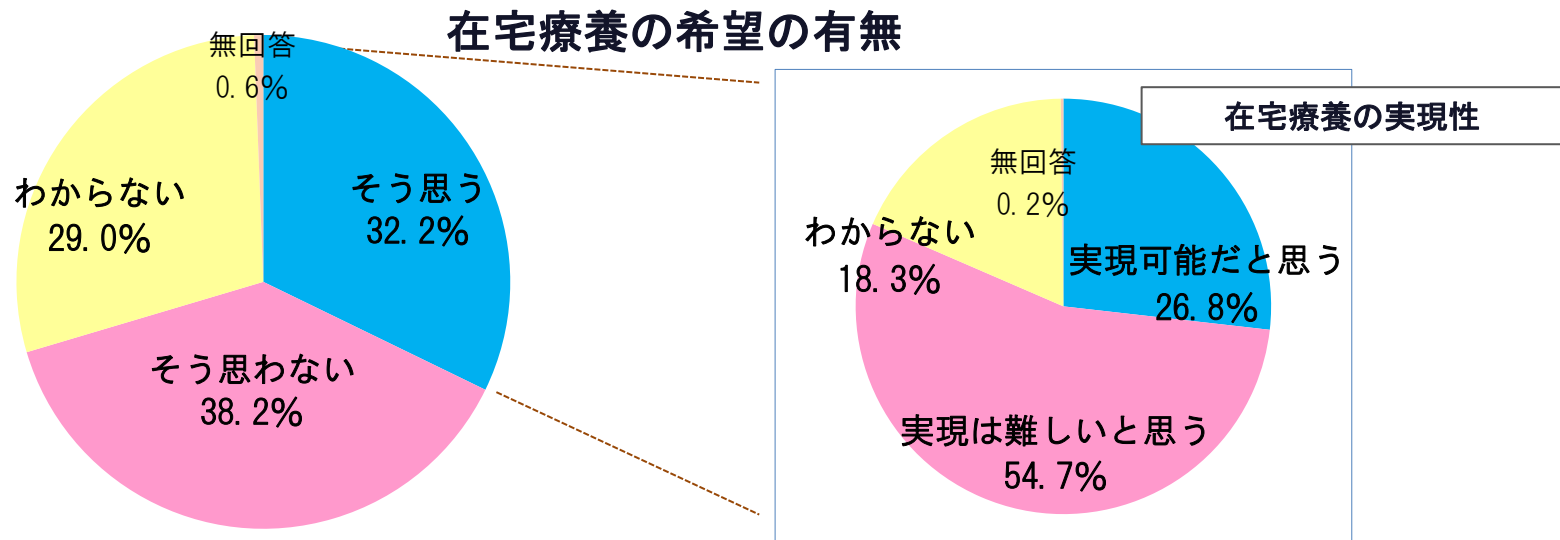
#### ＜医療機関所在地ベース＞

区分	E市	F市	G市	H市	Y市	区中央部	区南部	区西南部	区西部	区西北部	西多摩	北多摩西部	北多摩南部	神奈川県	市外計	総計
訪問診療（居宅）	800														0	800
訪問診療（同一建物）	100														0	100
訪問診療（特定施設）								100							100	100
合計	900	0	0	0	0	0	0	100	0	0	0	0	0	0	100	1,000

## 長期の療養が必要になった場合

自宅で療養を続けたい ⇒ 「そう思う」 32.2%

そのうち自宅での療養が難しいと考えている人  
⇒ 54.7% (ex. 家族の負担、病状変化時の対応)



**在宅で安心して療養生活を送れる体制の実現が必要**